横浜市「官民データ活用シナリオ創発プラットフォーム事業」

総務省 [illegible]

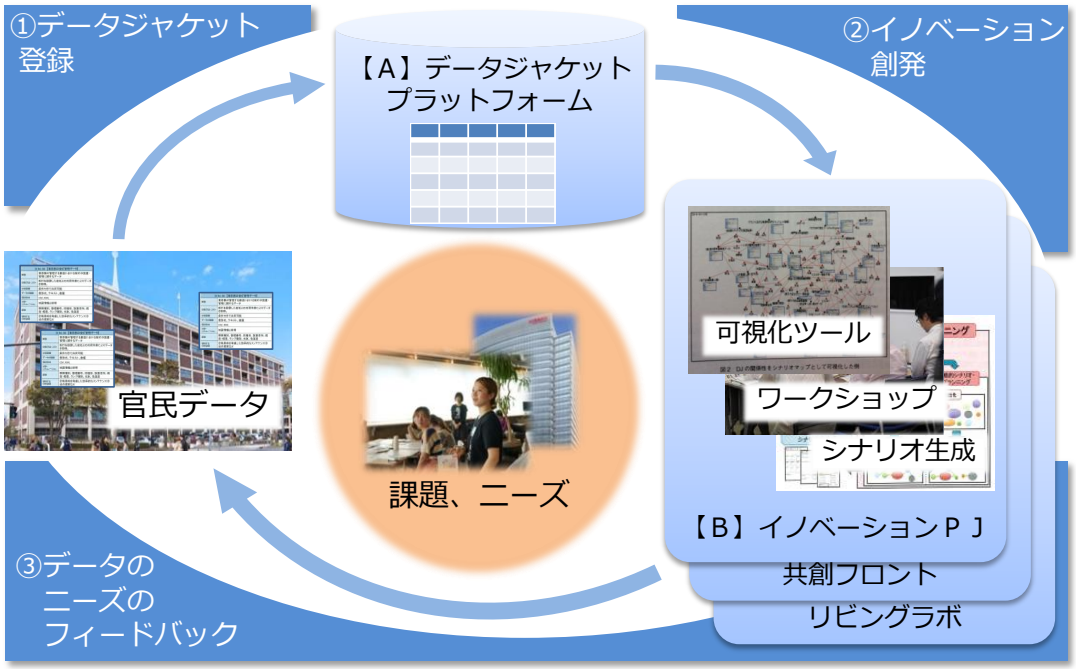
実施地域	神奈川県横浜市
実施団体	株式会社リアライズ
事業概要	横浜市の課題解決及びスマートシティ推進に役立つデータ利活用アイデアおよび課題解決シナリオを組織的・体系的に創発するため、(A)課題・ニーズ起点で官民データの「データジャケット（概要情報）」を登録・利活用するプラットフォームを構築するとともに、(B)そのデータへの可視化ツールの適用やワークショップの運営からなる一連のプロジェクトを実施。

事業コンセプト

「データジャケット手法」（東大・大澤教授）

データセット全体ではなく、データの概要情報と課題・ニーズを組合せて可視化することで、潜在ニーズや解決策を発見する

本事業のフレームワーク



事業のゴール

a)課題・ニーズ起点での官民データ活用に利用可能なデータの概要情報を把握

b)組織的・計画的に官民データ利活用シナリオを創発し、優れたシナリオは実装へとつなげる

c) フレームワークの普及を図り、行政機関/自治体間での共有・API連携で、さらに大きなスケールでデータをマッシュアップ